

研究課題名 腹腔鏡下手術における第1トロッカー挿入法（オプティカル法） の有用性に関する情報公開

1. 研究の対象

2011年7月1日～2015年4月30日までに当科で腹腔鏡下手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

腹腔鏡下手術の第1トロッカー挿入法は、小開腹法が広く用いられている。これに対して我々は、以前より optical 法で挿入しており、これまでに約1000例経験してきた。Optical 法は、第1トロッカー挿入位置に皮膚切開を加えた後、その両側を先端が鋭利な鉗子などで挙上し、内視鏡を装着したトロッカーの先進部の映像を観察しながら、トロッカーを回転させ先端の鈍刃で組織を分けながら挿入する方法である。その方法から、体型に左右されず挿入することが可能であると考えられ、特に肥満症例に有用であると思われる。Optical 法に関する報告は非常に少なく、今回、我々は本法の有用性について報告する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 田中 千恵

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 教授 小寺 泰弘